令和元年度「生徒の英語力強化のための英語指導力向上事業（英語教育改善プラン推進事業）」 ～東松山市立白山中学校～

現状の課題

・自己開示（自己表現）が苦手で、失敗（周囲の目）を気にする傾向があり、英語での積極的なコミュニケーションを行えない生徒が多い。

・主体的・積極的にインタラクティブなコミュニケーションを図ろうとする態度の育成が必要である。

具体の取組の内容

［授業における帯活動の工夫］

〇特に、話すこと（やりとり）の能力を、継続的・系統的な帯活動を通して向上させる。帯活動の中で、主体的に他者と関わりを持ち、円滑な人間関係を築かせる。また、相互扶助を大切にし、間違いを恐れずに、自信を持って表現活動に取り組ませる。（疑問詞Q＆A、やりとりシート＜トピック集＞、つなぎ言葉・表現集など）

［授業全般（特に本文）を通しての言語活動（やりとり）の工夫］

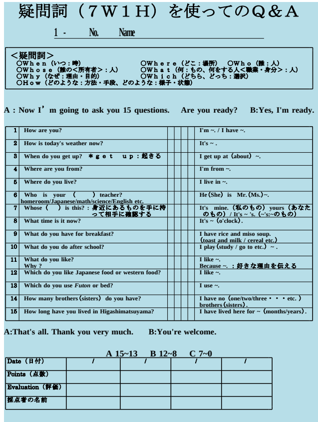
〇帯活動を活用し、教科書の内容把握のためのQ＆A（教員⇔生徒⇔生徒）を行う。
基本表現（新出文法事項）を活用しての表現活動（対話・スピーチ）をする。
パフォーマンステストの実施。

［小中の連携］

〇小中一貫教育を意識した授業に関する連携活動と教職員間の交流及び有効な研修活動。

［CAN－DOリストの活用（小中の接続を意識して）］

〇CAN－DOリストを有効活用した系統的指導の工夫。



疑問詞（7W1H）を使ってのQ＆A

1 - No. Name

＜疑問詞＞
〇When（いつ：時） 〇Where（どこ：場所） 〇Who（誰：人）
〇Whose（誰の＜所有者＞：人） 〇What（何：もの、何をする人＜職業・身分＞：人）
〇Why（なぜ：理由・目的） 〇Which（どちら、どっち：選択）
〇How（どのような：方法・手段、どのような：様子・状態）

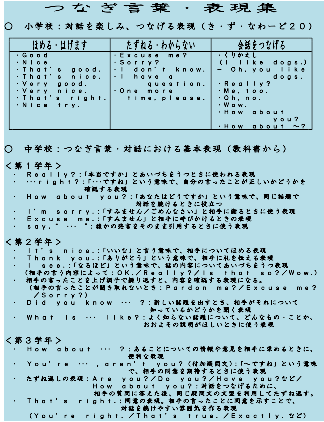
A：Now I'm going to ask you 15 questions. Are you ready? B:Yes, I'm ready.

1	How are you?	I'm ~. / I have ~.
2	How is today's weather now?	It's ~.
3	When do you get up? ＊get up：起きる	I get up at (about) ~.
4	Where are you from?	I'm from ~.
5	Where do you live?	I live in ~.
6	Who is your ( ) teacher? homeroom/Japanese/math/science/English etc.	He(She) is Mr.(Ms.)~.
7	Whose ( ) is this?：身近にあるものを手に持って相手に確認する	It's mine.（私のもの） yours（あなたのもの） / It's ~'s.（~'s:~のもの）
8	What time is it now?	It's ~ (o'clock).
9	What do you have for breakfast?	I have rice and miso soup. (toast and milk / cereal etc.)
10	What do you do after school?	I play (study / go to etc.) ~.
11	What do you like? Why?	I like ~. Because ~.：好きな理由を伝える
12	Which do you like Japanese food or western food?	I like ~.
13	Which do you use *Futon* or bed?	I use ~.
14	How many brothers (sisters) do you have?	I have no (one/two/three・・・etc.) brothers (sisters).
15	How long have you lived in Higashimatsuyama?	I have lived here for ~ (months/years).

A:That's all. Thank you very much. B:You're welcome.

A 15~13 B 12~8 C 7~0

Date（日付）	/	/	/	/
Points（点数）				
Evaluation（評価）				
採点者の名前				



つなぎ言葉・表現集

〇 小学校：対話を楽しみ、つなげる表現（き・ず・なわーど20）

ほめる・はげます	たずねる・わからない	会話をつなげる
・Good ・Nice ・That's good. ・That's nice. ・Very good. ・Very nice. ・That's right. ・Nice try.	・Excuse me? ・Sorry? ・I don't know. ・I have a question. ・One more time, please.	・くりかえし（I like dogs.）－ Oh, you like dogs. ・Really? ・Me, too. ・Oh, no. ・Wow. ・How about you? ・How about ～?

〇 中学校：つなぎ言葉・対話における基本表現（教科書から）

＜第1学年＞
・ Really?：「本当ですか」とあいづちをうつときに使われる表現
・ …right?：「…ですね」という意味で、自分の言ったことが正しいかどうかを確認する表現
・ How about you?：「あなたはどうですか」という意味で、同じ話題で対話を続けるときに役立つ
・ I'm sorry.：「すみません／ごめんなさい」と相手に謝るときに使う表現
・ Excuse me.：「すみません」と相手に呼びかけるときの表現
・ say, " … "：誰かの発言をそのまま引用するときに使う表現

＜第2学年＞
・ It's nice.：「いいな」と言う意味で、相手についてほめる表現
・ Thank you.：「ありがとう」という意味で、相手に礼を伝える表現
・ I see.：「なるほど」という意味で、話の内容についてあいづちをうつ表現
（相手の言う内容によって：OK.／Really?／Is that so?／Wow.）
・ 相手の言ったことを上げ調子で繰り返すと、内容を確認する表現になる。
（相手の言ったことが聞き取れないとき：Pardon me?／Excuse me?／Sorry?）
・ Did you know … ?：新しい話題を出すとき、相手がそれについて知っているかどうかを聞く表現
・ What is … like?：よく知らない話題について、どんなもの・ことか、おおよその説明がほしいときに使う表現

＜第3学年＞
・ How about … ?：あることについての情報や意見を相手に求めるときに、便利な表現
・ You're … , aren't you?（付加疑問文）：「～ですね」という意味で、相手の同意を期待するときに使う表現
・ たずね返しの表現：Are you?／Do you?／Have you?など／How about you?：対話をつなげるために、相手の質問に答えた後、同じ疑問文の文型を利用してたずね返す。
・ That's right.：同意の表現。相手の言ったことに同意を示すことで、対話を続けやすい雰囲気を作る表現
（You're right.／That's true.／Exactly. など）

成果①

【埼玉県学力・学習状況調査生徒質問紙のデータから】

・4月の調査結果より12月時点での調査結果において、生徒の英語使用に関する意欲の質問において肯定的結果が、14．5％増と数値が伸びていた。
（70．2％⇒84．7％）

【小中の連携から】

・小学校の各学年の授業参観・研究協議を通して、発達段階に応じた指導の工夫を理解することができた。

・小学校におけるSmall Talkを発展させることで、中学校において系統性を図ることができた。

成果②

【授業アンケート（教員の授業力向上）に関する生徒の感想から】

・学期末ごとのアンケートにおいて、話すこと（やりとり）について感想を書いてくれた生徒のほとんどが、回数を重ねていくうちに慣れていき、徐々に抵抗感なく会話をすることができるようになってきた。

・相づち、つなぎ言葉やジェスチャーなどを自然に使えるようになりたいなど意欲的に会話の質や表現の幅を広げていきたいと感じている生徒が多くなった。この視点での感想は、生徒の英語使用の意欲につながるものである。

【通常の授業の様子から】

・インタラクティブなコミュニケーション活動の機会を意図的に数多く設定した。これにより、主体的にかつねばり強く取り組む姿勢が多く見られた。

今後の課題・方向性

自発的・主体的にコミュニケーション活動にさらに取り組む生徒の育成を目指して

①新しく習った表現の正確な定着と運用。
（指導形態や指導方法のさらなる工夫）

②話題の即興性を重要視したやりとりの活動の充実。
（使用場面や状況設定のさらなる工夫）

③1コマ50分の授業過程において、無駄を省いた、生徒と教員、生徒間同士のコミュニケーション活動の場面の設定。
（指導方法のさらなる工夫及び改善）

④英語が苦手な生徒たちへの支援の充実。
（意欲の向上及び表現活動の定着を目指して）